

新飯能

発行
日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江
090-7265-1601
山田とし子
090-4389-4439
新井たくみ
090-4010-5650
滝沢おさむ
090-7000-4481

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所456)
Mail jcp-sigi@pluto.plala.or.jp

「政治を変えよう」 閉塞打開の第一歩の年に

日本共産党飯能市委員長 金子としえ

最初に東日本大震災の被災者救援募金では、これまでに日本共産党中央委員会に12億円を超える募金が寄せられ、被災したすべての自治体と長野県栄村、JA、漁協などの団体に直接届けることができました。引き続き支援をともにおすすめしていきます。

一人一人の要求 が政治動かす力

2012年は、こうした一つ一つの問題で国民が立ち上がる運動をさらに大きく発展させることが、新しい政治を起す上で要となっています。

飯能でも若いパパ・ママを中心とした「放射能から子ども達を守る

立党の精神を発揮して、今年こそ政治変革の第一歩が始まったといえる年にするために広範な方々との対話と共同を大切にがんばります。

明日の希望が みえる年に

衆院議員 塩川てつや
同予定候補 梅村さえこ



「原発ゼロ」をめざす運動をはじめ、消費税増税と社会保障の改悪に反対する運動など、政党・政派、保守・革新の垣根を超えて幅広い「一点共闘」が大きく発展した年でした。

日本共産党は、今年7月15日で党創立90年を迎えます。『国民の苦難を軽減する』という

昨年、大震災、原発事故の被災者支援に奔走しました。明日の希望が見えるように、被災者の生活と生業の再建に全力を挙げます。社会保障改悪と一体の消費税増税は許せません。原発ゼロ、TPP参加断念、家計を応援する政策への抜本的転換をめざします。

新春のつどい

2月12日 午前11時～

飯能中央公民館

第一部 記念講演
第二部 余興・交流
民謡 津軽三味線他
歌謡、各後援会からの
出し物 ※くじ引き(景品あり)
会費：2000円
主催：日本共産党飯能市委員会
同後援会



飯能市・新成人 979人

成人式に741人が参加

9日、飯能市民会館で「平成24年度飯能市成人式」が行なわれ、新成人741人(対象者979人)が出席しました。

オープニングは、各離子保存会、離子連の新成人11人が祭囃子を披露。式典は、沢辺市長、大久保議長、和田県議が祝辞を述べ、

『はたちのメッセージ』は、新成人代表の鈴木彩子さん、塩野拓夢さんが、新たな決意を述べました。

好天に恵まれた式場周辺では、旧友や恩師との再開に喜び合う姿があちこちで見られました。

「猫伝」とあつた題名を、「吾輩は猫である」とするよう勧めたのも虚子であったと関川夏央の「子規、最後の八年」にあります。この猫は1908年(明治41年)9月14日に物置のヘツツイ(かまど)の上で死亡通知が出されています▼なんで猫のことかといえ、昨年の暮に家の老猫の「とら」が病気になる、三日間入院するという破格の待遇をうけ、元旦のお昼に無事退院するということがあったからです。「とら」はノラ猫が居ついてしまったもので、年齢は不詳です▼猫は入院すると一日一万円以上かかります。今も週二回通院しているので、一回数千円の治療費がかかります。馬鹿にならない出費です。それでもできるだけのことはしてあげたいというのが人情です。猫だけではありません。人間も必要な医療や介護をお金の心配をしないで受けられるような世の中を願わずにはいられません。



元旦から駅頭で訴える塩川、梅村両氏

公民館の行政センター化

地域の自治力向上につながる

飯能市は、本年4月から公民館を地区行政センターに吸収して、市長部局の管理下に置くとしています。市の当局者はセンターに吸収しても「公民館の機能は維持する」と説明していますが、公民館の形骸化が進み、本来の機能が失われなかと心配の声が広がっています。

学習の自由と 学習権の保障が損なわれる危険も

飯能日高地域労連は、昨年末の12月27日に「公民館のありかたを考へ、この問題にどう対処するかを協議するため」に、所沢在住の細山俊男さん（社会教



育・生涯学習研究所副所長を講師に迎えて、『公民館は今のままで残すべきか』と題した学習会を行いました。細山さんは「公民館は戦後に制定された教育基本法や社会教育法に根拠を持ち、戦後の地域民主化推進の組織として出発しました。また、社会教育の機関としても地域において、大いにその役割をはたしてきました。その公民館の行政センター化には、①財政の合理化などの理由でのセンター化は地域の自治力向上にならない。②利用団体の受益者負担、有料化に道を開くもの。③市長部局への移管で、公民館の学習の自由と学習権の保障が損なわれる可能性がある。」などの問題があると指摘しました。

そして、「長野県阿智村では、地域に何か問題があると住民は公民館に集まり、学習会を開きます。そして村や教育委員会に提言していきます。そうした先進地域に学び、地域づくりのセンターとしての公民館の役割を深めていきましょう。」とむすびました。

今後のすすめ方として、事務局から ①教



育委員会議や社会教育委員会議、公民館運営審議会の傍聴を計画しよう。②行政センター化を検討している担当

課からの説明会（出前講座）を求めよう。などが提案され、参加者全員で確認しました。

飯能市少年大会 5・6年生の部 美杉台Aが優勝

第45回飯能市少年サッカー大会（飯能サッカー協会、飯能市教育委員会主催、毎日新聞社など後援）は8、9両日、美杉台公園などで開かれました。



市内の小学生たちで作る27チームが参加。5、6年生の部では決勝で、美杉台トウギヤザーAが飯能ブルーダージュニア5年生を1対0で破って優勝しました。

そのほかの上位の成績は次の通りです。

【5、6年生の部】

▽優勝 美杉台トウギヤザーA

▽準優勝 飯能ブルーダージュニア5年

▽3位 加治サッカースポーツ少年団A

▽4位 飯能ジュニアサッカースポーツ少年団A

【4年生以下の部】

▽優勝 加治サッカースポーツ少年団C

▽準優勝 飯能ブルーダージュニア3年A

▽3位 飯能ブルーダージュニア4年A

▽4位 美杉台トウギヤザーD



課からの説明会（出前講座）を求めよう。などが提案され、参加者全員で確認しました。

市内の放射線量の測定結果

基準を超える場所は
ありませんでした。

飯能市は、市内保育所1か所、森のようちえん、全ての児童遊園の放射線量を測定しました。

12月19日に保育所、児童遊園の局所的放射線量を測定。12月20日

に森のようちえん、児童遊園の局所的放射線量を測定しました。

測定結果は左表のとおりです。

○測定値の評価

測定値は子どもの生活する高さである地表50cm上では、 0.06 Sv/h 、 0.13 Sv/h 以内で、年間1mSvの範囲内でした。また、地表1cm上における測定値については、毎時1マイクロシーベルトを超える箇所はありませんでした。

調査場所	調査地点	平均値 ($\mu \text{ Sv/h}$)	
		地上1cm	地上50cm
東吾野保育所 (測定地点図)	① 園庭中央	0.08	0.08
	② 倉庫裏中央	0.1	0.07
	③ 倉庫裏中央	0.17	0.09
八幡児童遊園 (測定地点図)	① 消防団詰所横	0.11	0.08
	② 中央	0.06	0.07
	③ ブランコ下	0.1	0.08
原町児童遊園 (測定地点図)	① 砂場	0.09	0.09
	② 中央	0.07	0.07
	③ ブランコ下	0.07	0.06
中山児童遊園 (測定地点図)	① トイレ雨樋	0.68	0.13
	② トイレ雨樋	0.42	0.1
	③ 山車小屋屋根下	0.12	0.08
	④ 山車小屋雨樋	0.09	0.08
	⑤ 倉庫雨樋	0.17	0.12
	⑥ 倉庫雨樋	0.16	0.09
	⑦ 中央	0.1	0.08
	⑧ 滑り台下	0.08	0.08
平松児童遊園 (測定地点図)	① 鉄棒下	0.11	0.08
	② 砂場	0.08	0.08
	③ ブランコ下	0.12	0.07